

大阪自治労連2018春の組織・共済拡大交流集会では、「真の働き方改革を実現しよう 安倍政権の『働き方改革』批判、労働組合の役割」というテーマで、伍賀一道金沢大学名誉教授に講演していただき、安倍「働き方改革」の本質と自治体労働組合に求められることについて学びました。

本当の働き方改革へ

安倍政権の「働き方改革」

一括法案を許さない！

働き方の貧困ひろがる

これまでの安倍政権のもと、2012～16年で正規15万人に対し非正規は203万人も増え高止まりしている。人口が減る一方で労働力人口は増加。その背景には、「就職氷河期時代」の非正規が正規になれないまま貧困層となり、その子ども世代が働かざるをえない状況となり、高校生がアルバイト収入の半分を家計にまわしている実態も。その一方で正規の長時間労働も高止まりし、過労死・精神障害（過労自殺）が増大している。この間の調査データを引用して示されました。

問題解決に程遠い

「働き方改革関連法案」

今国会で審議中の「働き方改



伍賀一道さん

革関連法案」は、今の問題を改善させるのではなく、大企業の利益優先となっている。「高度プロフェッショナル制度」は「残業代ゼロ法」であり、通ってしまえば国会審議なしに拡大されてしまう。「裁量労働制」も長時間労働と残業代未払いが生じている実態がある。公務員にも適用される「時間外労働の上限設定」は、月100時間未満まで可能で、過労死ラインを容認するもの。「非正規雇用」を一掃するといながら、均等待遇にはほど遠い内容ともなっている。また、AI時代の到来

にむけ、労働者の個人事業主化、テレワークの拡大を推進している等、問題点を指摘されました。

いま求められる

「働き方改革」とは

いまこそ①長時間労働の規制、過労死などの根絶②最低賃金制度の抜本改革、8時間働けば当たり前の生活ができる仕組み③正規・非正規の均等待遇④雇用の保障が求められている。公務員においても長時間労働の規制、過労死の根絶、そして非正規問題の解決が求められる。そのために、労働組合が抜本的な労働時間の短縮と最低生活保障のあり方の具体化することが求められていると、期待を込めてしめされました。



データにもとづいた安倍「働き方改革」批判に聞き入る参加者

枚方市職労

サービス残業解消へ

「始業前勤務」の実態調査

枚方市のサービス残業解消の取り組みは、出退勤管理システムを使った調査指示、ノル残業デーなどです。しかし、始業時刻前勤務については、具体的な手立てがされていません。そこで、始業前に職員の声を聞きとる活動を、本庁舎、分館、第二分館で行いました。

「始業前勤務」の背景には

「昨日夜も残業したが、遅くなると効率が落ちるので朝出てきた。超勤手当を申請で



1月31日午前7時30分から8時15分にかけて職場をまわりました

きる雰囲気ではなく、つけたことがない」、「夜と違って、「まだ残っているのか?」の視線を感じずにすむ」、「7時半には来ているが、打刻は8時過ぎにしている」といった声が聞かれました。他方、「バス通勤で、渋滞を避けるために早く来ている」「電話がかかってこないのが仕事がかどる」と話す職員も。

真の「ワークライフバランス」へ

職場の声を受けとめて

真のワークライフバランスを実現するために、「ストレスチェックの結果をオープンにして、ストレス度の高い職場を明らかにすると、職場改善につながるのでは?」「とにかく人を増やすことに尽きる」「人材確保できる魅力ある職場を」との意見をいただきました。

枚方市職労は、職場の声を受けとめて働きやすい職場づくりを進めていきます。

足をふみだして

職場で 地域で

2018 春闘

進んでいます！3000万人署名



富田林市職労婦人部・青年部の駅頭宣伝



大阪市労組の街頭宣伝

吹田市労連 全組合員学習会 2月7日～23日 全5日間

会計年度任用職員制度

不利益変更させないだけでなく改善させるたたかいを

全組合員学習会の第4日に、川西玲子さん（NPO働きかたASU・NET副代表理事）を招き「よりよい会計年度任用職員制度をめざして」をテーマに130人が学習しました。

法改正は不十分であるものの、国会審議の中で重要な政府答弁を引き出し、実らせた附帯決議をいかし、よりよい制度にしていく決意を固めました。

「裁量労働制」とは、実労働時間とは別に労使委員会であらかじめ決めた時間働いたものと「みなす」ことができる制度です。厚生労働省等の調査でも裁量制の方が一般より労働時間が長い結果が出ています。まさに「サービス残業合法化」法といえます。「高度プロフェッショナル制度」は、特定高度専門業務・成果型労働制とされ、その対象労働者は、1日8時間・週40時間の上限、休憩時間、週1日の休日、時間外労働の「三六協定」締結、時間外・休日・深夜の割増賃金はすべて除外されてしまいます。24時間休憩もなく48日間連続で働かせることも可能です。長時間労働の野放しで過労死を激増させることは必至です。

労働基準法、じん肺法、雇用対策法、労働安全衛生法、労働者派遣法、労働時間等設定改善法、パートタイム労働法、労働契約法の8つの法律「改正」を一括法案としています。労働基準法は労働時間規制を骨抜きにする内容、雇用対策法は雇用と職業生活の安定を目的としているものに「労働生産性の向上等」を盛り込み、リストラ・人員削減・過重過密労働を促すものへ変質させるもの、労働契約法は有期限雇用労働者への不合理な差別禁止条項の削除など、どれも労働者保護にかかわる重要な部分を大幅に後退させる内容で、個別に十分審議すべきであるにもかかわらず、一括処理しようとするものです。

今月のキーワード

裁量労働制
高度プロフェッショナル制度

今月のキーワード

働き方改革関連法案